

ワシの生活に手出し無用！

神奈川県川崎市
株式会社ニチイケアパレス
介護付有料老人ホーム ニチイホーム柿生
職員 小森 崇央

1 はじめに

ニチイホームは首都圏に50箇所以上展開している介護付有料老人ホームです。当施設ニチイホーム柿生は、平成23年より常勤の理学療法士を配置していることから、リハビリ目的の入居者が多いのが特徴です。

今回の事例は在宅生活時のように自分の意思で行動し、生活を送りたいとの思いを持った男性へのアプローチ事例です。老人ホームは集団生活の中にあっても個の意思を尊重し、その方らしい生活を支援する場だと考えます。理学療法士や介護職員、その他ホームの全職種連携により、少しでも個々の思いや目的を実現できればと考えています。

2 事例や取組の紹介

今回紹介する事例は、リハビリを通してご自身の希望される日常に近づくことが出来た男性の事例です。

◆対象者生活暦◆

対象の方は在宅にてご夫婦で生活されていましたが、肺炎により入院。退院後は認知症状、ADLの低下が見られ、在宅困難な為、ニチイホーム柿生にご夫婦で入居となる。入居当初は入院の影響もあり、下肢筋力が低下しており夜間でも一人でトイレに行こうとし週2〜3回転倒されていました。そのため排泄は終日でのオムツ対応、日中もほぼ臥床して過ごされていました。今回お客様よりトイレでの排泄がしたいとの希望があり、トイレでの排泄を通じてADLの向上が期待できると考えました。

◆対象者の課題点◆

- ① 排泄は終日オムツ対応。移乗は職員介助。
- ② オムツとなり便の回数が減。
- ③ 不眠・浅眠・日中は食事以外臥床。活動量の低下。

◆課題克服への仮説◆

- ① 下肢筋力の向上により、トイレでの排泄が可能となる。
- ② トイレで排泄することにより、自然排便が可能となり、便秘の解消。
- ③ 車イスの自操や、体操・レクへの参加により日中の離床・活動量を増やすことで不眠の解消。

◆実践・経過◆

① 理学療法士の指導・評価による毎日の立位訓練の実施。

ステップ1：ベッドからの立ち上がり動作訓練。

ステップ2：トイレでのつかまり立ち。姿勢の矯正。立位時間の継続。

ステップ3：つま先立ち訓練。足踏み訓練。バランス訓練。

② 毎日決まった時間でのトイレ誘導を実施。トイレに座る習慣をつける。

ステップ1：1日1回14時にトイレに座る。

ステップ2：尿意・便意があった際にはナースコールを押してもらい、トイレに座る回数を増やす。

③ 毎日の声かけによって車イスの自操や体操・レクへの参加を促した。

ステップ1：食事時は居室から食堂まで自操することから開始。

ステップ2：介護予防体操に興味があり、フロア関係なく体操関連のレクに参加を促した。

◆結果◆

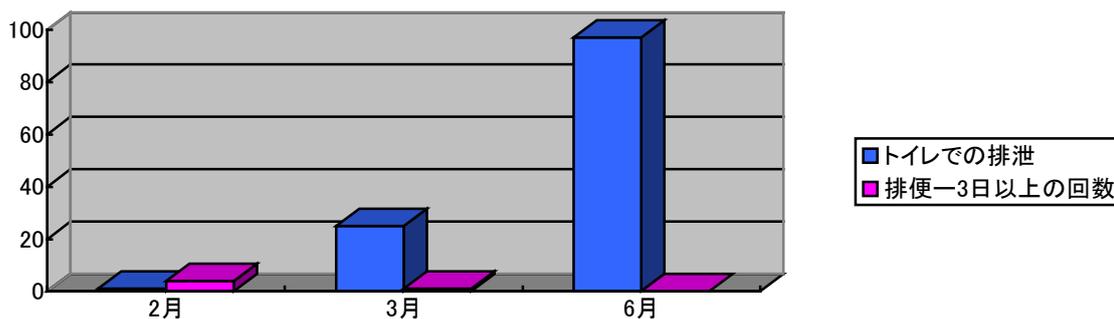
① 排泄は日中・夜間ともにトイレにて実施。ズボンの上げ下ろし以外は介助なし。

② 月別結果

《2月》トイレでの排泄＝1回 排便－3日以上の回数＝4回

《3月》トイレでの排泄＝25回 排便－3日以上の回数＝1回

《6月》トイレでの排泄＝97回 排便－3日以上の回数＝0回



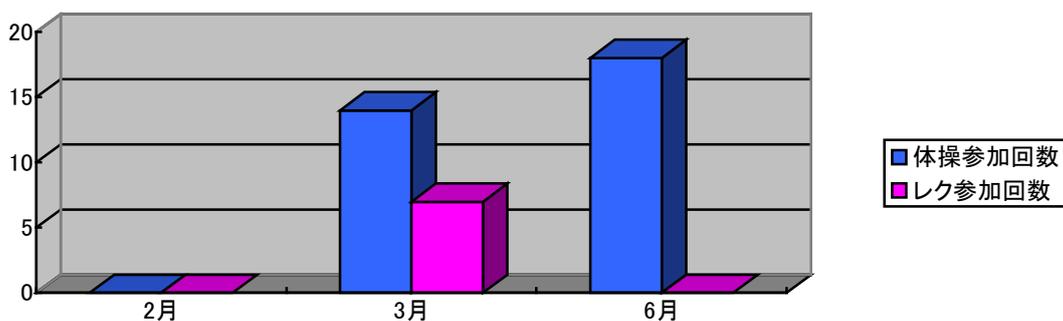
③ 月別結果

《2月》体操参加回数＝0回 レク参加回数＝0回

《3月》体操参加回数＝14回 レク参加回数＝7回

《6月》体操参加回数＝18回 レク参加回数＝0回

《6月》平均睡眠時間＝約6時間



◆事例実施前・後のモニタリング結果◆

要介護度	要介護3	→	要介護3
立位保持時間	1分	→	3分以上
立ち上がり動作	一部介助	→	自立（見守りあり）
体操参加回数	0回	→	18回
レク参加回数	0回	→	1回
月間トイレ排泄回数	1回	→	97回

3 考察

P Tとの協同での訓練により、立位が安定し職員見守り程度での介助が可能になったと考えます。訓練をきっかけにお客様が自分でできると自信をつけていったことで、体操の参加率の上昇に繋がり日中の離床時間を延ばすことが可能になったと考えます。自操において別フロアの奥様と食事をするため積極的に自操し奥様を呼びに行く様子が見られました。レクの参加率が伸び悩んだ原因として、好みのレクだけ参加していたと考えられます。毎日のレクの時間をテレビを見て過ごされたりと、ご本人が希望されるペースでのライフスタイルを確立することが出来たと思われま

4 おわりに

P Tとの協同での訓練を継続することで専門的な評価とプログラムにより効率的な訓練が実施でき、ほぼ自力での排泄が実現しました。体操の参加率が上昇した一方で、レクの参加率は伸びませんでした。しかし日中の活動性は向上しました。現在ではご自身のやりたいことをご自身で選択する本人が望む生活が可能になりました。

これはまさに「ワシの生活に手出し無用！」というテーマに近づいたと思います。